

2018年は、米騒動から100年、そして〈68〉年から50年でもある…

「忘却のかなたにおいやられたかにみえる記憶は、持続的に過去を想起し続ける想像力によって、現在の中に追体験される。そして、過去は過去ではなくなり流動を始め、現在に向かって覚醒する。この時、無意識のままに流されていた現在も流動を開始し、今をつくる無意識は打破される。」(小野沢稔彦)

2018年1月13日(土)

企画：「〈68〉年から50年」

Part 1 13時～16時半 「サンフォルテ」306号室にて

Part 2 18時半～20時半 生・労働・運動ネット富山 事務所にて

※資料代として Part1のみ1,000円、part1・2通しで1,500円

## Part 1

### 「〈68〉—語る・語らない・語りえないのあいだ」

#### ● 小杉亮子:こすぎりょうこ

社会学専攻。京都大学アジア研究教育ユニット研究員

近年、〈68年〉とは何だったのかを、若い研究者たちが新たな手法・視点で研究している。小杉亮子さんもその一人である。当時の学生運動に関わった者たちへのインタビューを通して〈68年〉に迫ろうとする小杉さんは、当事者たちの様々な反応から、「語る・語らない・語りえない」の「あいだ」があることに気付く。

小杉さんをお迎えして、〈68年〉について語り合う集い。



## Part 2

### 『「〈68〉年から50年の〈後〉に』—故旧忘れ得べき」物語

#### ● 埴野謙二:はのけんじ

生・労働・運動ネット富山

〈68〉年から40年の時点で「浦島太郎物語」を語ったのに続いて、〈68〉年から50年となった現在、この物語を語る。

連絡先 「生・労働・運動ネット富山」  
事務所：富山市神通町 3-5-3  
電話：090-2039-5069  
URL：<http://net-jammers.net/>